

北海道のおいしいもの

中西卓

北海道は鮭や鯿、タラバガニなどの海産物とジャガイモなどの農産物で知られるが、ここでは北海道にしかないものを紹介したい。

・甘いもの：まずは **六花亭**の包装紙をご覧いただきたい。デパートにならばセンスを評価する。バターサンド、六花のつゆ など十勝の小豆が詰まっている。新千歳空港ではいつもハスカップキャンデーを買う。

・ビール：**サッポロクラシック**は JR 北海道特急で社内販売の人気商品。

内地では物産展でしか買えない。サッポロビールは 20 年くらい前までは発祥の地に建つ赤煉瓦の工場とビアホールで、大きなドームの雰囲気は格別だった。この観光ビアホールは健在だが、工場が千歳発の快速が止まらない‘サッポロビール庭園’ 駅近くに移った。広大な緑地に白いタンクがそびえるが申訳のビアホールは穴倉みたいでがっかりした。キリンが中島公園近くに、アサヒが近郊の白石に進出したので、量を争うビール市場の宿命なのだろうか。

・ニッカウキスキー：小樽から三つ目余市の駅近くに古城の赴きで構える工場がある。広い敷地に赤い屋根の棟が点々と並び石炭焚きの蒸留窯が目を引く。ゆっくりとウイスキー博物館見学をおすすめ、竹鶴政孝がグラスゴーで学んだこと、リタ夫人とのロマンスがよくわかる。サントリー（山崎）のようなスマートさはないが、万事が素朴でゆったりしていて北国のディスティラリーらしさを感じる。

・室蘭の焼き鳥：居酒屋で串焼きを注文したら鳥でなく豚だったが独特のタレで旨かった。

・函館本線・森の蛸弁当：キャラメル箱を重ねて 4 倍くらいの折箱に入った蛸飯（イイダコ？）であるが、三宮で買う明石の蛸壺飯と比べるとおかしいかもしれない。

・サロベツ牛乳：宗谷本線で稚内に着く前に車窓に広がるサロベツ原野の産であるが、毎朝飲んでいる。コープで人気があるが地産地消でないのが残念だ。（牧場の背景は利尻富士）



次男が帯広郊外に住むので、北海道には北から南、西から東へ探訪したつもりでも「食」を知ったかぶりして書くのはおこがましい。とにかく広い。札幌郊外の野幌森林公園や北大・苫小牧研究林は一日歩いても飽きない。食を離れてでも探訪をおすすめする。

「食」からずれた旅案内みたいな雑談になってしまいましたがご容赦を。

(終)